

子どもの生活習慣づくり「大谷チャレンジ宣言」

福岡県北九州市立大谷小学校 P T A

1 大谷小学校について

本校は、北九州市戸畑区の比較的山手に位置している。児童数は約400名。12学級の中規模の学校である。地域の特色として、本校が位置する大谷地区は、山坂が多いにもかかわらず、住宅地が広がっている。また、繁華街が校区にないことから比較的落ち着いた反面、高齢化が進んでいる。校舎が古くなったために、建て替えることになった。そのため2年間、廃校になった校舎に仮住まいをし、新校舎が平成21年3月に完成した。6月に新校舎落成・創立50周年記念事業を行った。



P T A活動も盛んで、昭和61年には全国優良P T Aとして文部大臣賞を受賞している。

2 大谷チャレンジ宣言に取り組む経緯・目的

平成19年に福岡県青少年アンビシャス運動の一環である「家庭教育宣言事業」のモデル校として取り組んでみたのが始まりである。初めての取り組みだったので、まず他校の実践を元にチャレンジカードを作成した。また、北九州市には、「子どもを育てる10か条」があり、その項目を参考にしながらチャレンジする項目を母親代表役員と教頭とで話し合い策定した。チャレンジカードを通して、全ての家庭がうまくいくわけではないが、少しでも、またいくつかでも家庭で何かが変わるきっかけになれば、そして、そのきっかけをもとに子ども達の人生がよりよいものになってくれればという思いがあった。

3 大谷チャレンジ宣言の内容

(1) チャレンジ宣言項目

【下学年チャレンジ宣言】

- ① 1日10人以上の人にあいさつをしましょう。
- ② てあらい、うがいをきちんとしましょう。

③ 1日1つおうちの人のお手伝いをしましょう。

④ おうちの人との約束を守りましょう。

⑤ (保護者の皆様へ) 1日1回お子さんに「好き」というメッセージを送りましょう(例: ほめる、抱きしめる等)

【上学年チャレンジ宣言】

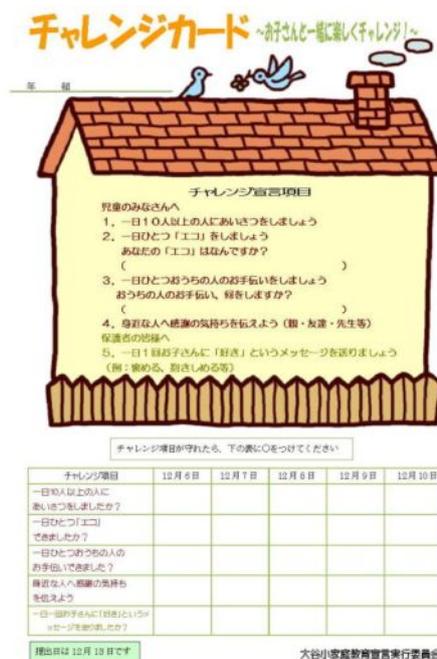
① 1日10人以上の人にあいさつをしましょう。

② 1日1つは「エコ」をしましょう。

③ 1日1つおうちの人のお手伝いをしましょう。

④ 身近な人へ感謝の気持ちを伝えましょう。

⑤ (保護者の皆様へ) 1日1回お子さんに「好き」というメッセージを送りましょう(例: ほめる、抱きしめる等)



(2) チャレンジカードの取り組みの実際

① PTA役員でチャレンジカードを作成する。

② 目的やチャレンジカードの取り組み方や書き方などの説明が書いてある「チャレンジ宣言の文書」とチャレンジカードを印刷し配布する。

③ 一週間後に回収する。

④ 「大谷チャレンジ宣言」アンケートをとる。

⑤ アンケートを回収して、集計する。

⑥ チャレンジ宣言の成果と課題を文書としてまとめ、全家庭に配布する。

4 成果と課題

(1) 成果

以下は、保護者のアンケートの文章である。

【子どもに何らかの変化が見られたと答えられた方、それはどんなことでしたか。】

低学年には、シールを貼ってもらうことがすごくうれしかったみたいで、一生懸命に取り組んでいました。意識して自分から積極的にあいさつ、手伝いをしてくれました。今まで、知り合いの中でしか「こんにちは、いつもお世話になっています。」をしていませんでしたが、いろいろな方にあいさつの声をかけられるようになっていました。

〈中略〉朝起こさなくても自分から起きるようになり、お手伝いも何かすることは自分で探すようになりました。〈後略〉

保護者各位 平成22年12月9日

第7回 冬の「大谷チャレンジ宣言」!

大谷チャレンジ宣言実行委員会
実行委員長 高木政則

取り組み期間
平成22年12月6日(月)~10日(金)
提出日 12月13日(月)

おやこ
テーマ:親子でチャレンジ! 第二弾!
おはなこ
基本的な生活習慣&家族でスキップ

☆チャレンジ宣言を通じてお子さんと一緒に、
大切な生活習慣・家庭生活を見直してみませんか! ☆
今回はあいさつやコミュニケーションといった、基本的な生活習慣の見直しや習慣づけと、親子のスキップの機会をもらうことを目標にしています。
お子さん達と一緒に、ぜひともチャレンジしてみよう。

※お子さんがチャレンジカードを持って帰ります。カードの項目について、5日間取り返してきましょう。
※宣言4番目の項目は約束事をお子さんと決めてチャレンジしてみてください。(低学年のみ)
※宣言5番目は保護者の皆さんのチャレンジです。ぜひともチャレンジしてみよう。

※毎日、その日一日、でできたできなかつたかをお子さんと振り返りながら、できた項目を好きな色で塗りつぶしてください。
※取り組み期間終了後、「おうちの方から」にお子さまに向けての言葉を添えてチャレンジカードをご提出ください。(低学年のみ)
チャレンジカードを提出した方にはおれなかつた修了証と記念品をプレゼント!

©アイディア募集。ご協力いただきありがとうございます。

【家族にも変化があったと答えられた方、それはどんなことでしたか。】

「5分以上語り合う」ということを意識してやってみました。(このアンケートの時のチャレンジカードには「5分以上語り合う」という項目があった。)自分の生活を見直すよい機会でした。日頃の生活では忘れがちなことですが、どれも大切なことなので、これからも実行したいと思います。〈中略〉食事の時間もテレビを消して、会話を大切にするようになりました。〈後略〉

また、アンケートの結果から、各学年の三分の一程度の保護者が「何らかの変化があった」と答えている。「大谷チャレンジ宣言」の「少しでもいくつかでも家庭で何かが変わるきっかけになれば」という目的は達成できたと感じている。

(2) 課題

課題として

- ① 上学年になると、取り組み率が低くなる。
- ② 内容的にマンネリ化してきたという声も聞く。

が挙げられる。

そこで「夏のチャレンジカード」では、学級担任の先生方に子どもに毎日チャレンジカードの意識付けを行ってもらった。その結果上学年の取り組み率が急激に増えた。

また、今回の「冬のチャレンジカード」の項目は、保護者から一般公募した。応募の数は少ないものの、項目を真剣に考えた回答が見られた。

5 問い合わせ先

福岡県北九州市立大谷小学校

TEL 093-881-6342

FAX 093-881-6442